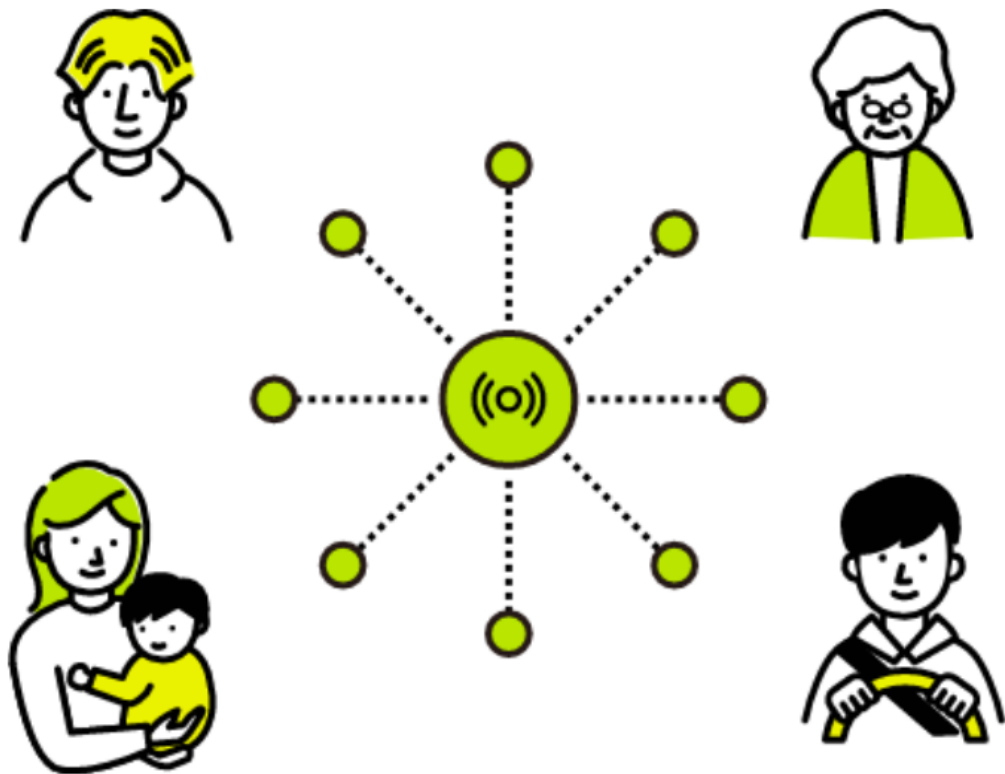


テーマ 02

テクノロジーを活用した 効果的な災害情報の伝達



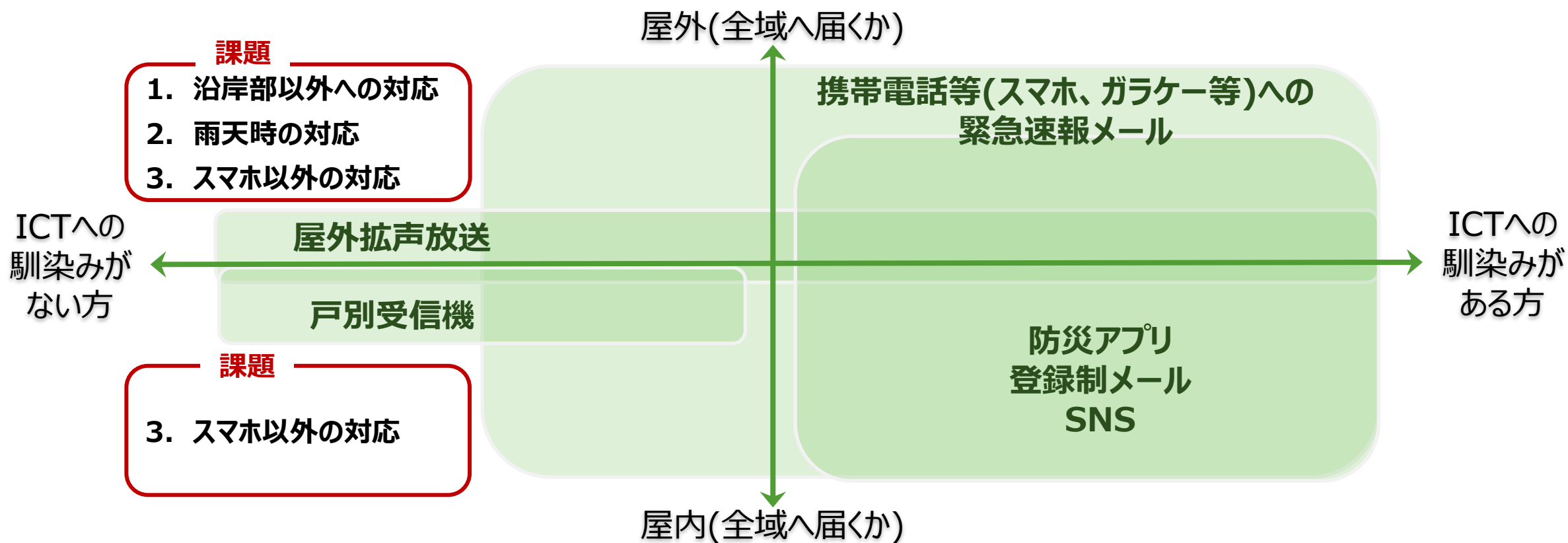
市内全域に、効果的に災害情報や避難情報を直接伝達するための新たなソリューションを募集します。仙台市に滞在しているすべての方へ迅速かつ的確に情報が届く仕組みを目指しています。

例

スマホの所持に関わらず、伝えられる仕組み

テーマ2 詳細①

仙台市では様々な手段を用いて、災害時の情報伝達を実施している。
ICTへ馴染みのない方への伝達や、屋外での伝達手段は、まだ改善の余地がある状況。



テーマ2 詳細②

1. 沿岸部以外への対応

- 屋外スピーカーは、津波対策として、直ちに避難する必要がある沿岸部に設置しているが、その他の地域においても、屋外で情報を知る手段が確保できること。

2. 雨天時の対応

- 大雨時であっても、防災行政用無線（屋外拡声装置）のスピーカーの音声が明瞭に聞き取れること。

3. スマホ以外の対応

- 伝達手段の多くは携帯電話やスマホが必要なものになっているため、モバイル端末に限らない情報伝達手段が確保できること。

※現在、本課題の対策の一環として、登録家庭の固定電話に自動音声で避難情報を伝える「せんだい避難情報電話サービス」を実施中。

<https://www.city.sendai.jp/okyutaisaku/kikitaisaku/denwasystem.html>